

7 その他

区	地域コミュニティ協議会	活動名
東	牡丹山小学校区コミュニティ協議会	木戸中学校区 コミュニティカレンダー作成事業
中央	女池校区コミュニティ協議会	女池校区コミ協「野球大会」・(自治会及びコミュニティ団体 対抗)
江南	亀田西小学校区コミュニティ協議会	ふれ愛 餅つき大会
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	広報活動

東区 牡丹山小学校区コミュニティ協議会

活動名：木戸中学校区 コミュニティカレンダー作成事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の高齢化や少子化が進むなか、地域コミ協の活動において子育て、防犯・減災、環境等の課題を解決していく必要があると考えた。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域と学校を結び、地域コミュニティの活性化のため、地域住民が参加できる環境を整える事を目標とした。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

木戸中学校、牡丹山及び竹尾小学校、牡丹山幼稚園、木戸中育成協、木戸中コーディネータ、牡丹山及び竹尾小のコーディネータ、木戸中・牡丹山・竹尾小及び牡丹山幼稚園PTAの代表者から集ってもらい編集会議を実施した。
また、各自治会から地域の行事、特に祭りの情報を収集した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

木戸地域コミュニティ協議会

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

中学校、小学校、幼稚園、育成協等の各種団体、地域と家庭が情報を共有することにより、生徒の見守りや指導、行事の重複を防止することにより、参加率の向上が図れた。小学生のいない家庭で重宝がられた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

見やすい文字の大きさの検討、行事の実施箇所を記載する場合あまり省略しないようにした。欄外や、イラストの活用に心掛けた。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

保育園にも参加してもらい、より広く情報を収集すると共に、地域の連携を深めたい。配布対象者を検討したい。



中央区 女池校区コミュニティ協議会

活動名：女池校区コミ協「野球大会」・(自治会及びコミュニティ団体対抗)

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ① (ア)26自治会、6,000世帯を超える広い地域における(イ)地域「各自治会」・「コミュニティ団体」等の交流(ウ)世代間交流(エ)活動家・後継者の育成。
- ② 女池地区自治連合会時代より開催されている「野球大会」の継続、40数年を超える先輩の伝統を守り、引き継ぐ。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ① コミ協役員「文化・スポーツ部」担当を中心に「運営委員会」をもうけて、計画等々すべて責任を持って行う。
- ② 野球大会に終わることなく、後の「懇親・交流」の「場」を大切にすること。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

運営委員会は参加チームの拡大、代表者会議、審判団打ち合わせ、試合後の表彰式「懇親・交流の場」の設営及び次期開催に向けての反省の意見交換等々。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

試合会場「女池小」の教職員の皆さん。

会員ですが「自治連」時代から野球大会に携わった先輩の指導と協力。

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

参加チームにPTA、中学生チームの参加「地域・世代間交流」が生まれた。また、初めて女性選手2名の誕生。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

交流会における地域の課題等を話し合いの中で活動家、後継者の育成等成果を期待。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

表彰式・交流会「女子選手の提案」今度は“ソフトボール”もやって！

参加チームを7チーム増やしたい。

参加チームの増加と地元「鳥屋野野球場」での開催を行政に配慮をお願いしたい。

野球大会以外「ソフトボール」や高齢者や子どもが参加できる「参加と交流」を目的としたイベントを工夫、計画を試みたい。

江南区 亀田西小学校区コミュニティ協議会

活動名：ふれ愛 餅つき大会

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

コミ協主催行事だけではマンネリ化し、組織の活性化や多世代交流が図れない。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

コミ協とPTAが協働・連携した活動が必要なため、開催に向け実行委員会を設立した。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

かつては各家庭や地域において、お正月などに餅つきを行っていたが、近年核家族化進み杵や臼を使った餅つきがお行われなくなったため、コミ協とPTAが連携して、昔ながらの餅つきを再現することで、組織の活性化と地域の多世代交流の場を提供した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

亀田西小学校PTA ※コミ協の構成団体ではあるが、この事業に限り共催としている。

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

PTAとの連携によって、児童やその家族の参加も増え、また地域の高齢者も昔の餅つきを懐かしみながら、子どもたちに餅つきの体験をさせるなど、多世代に渡る交流と、コミ協の活動をPTAにも理解してもらえた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

餅がつきあがるまでの時間、子どもたちを退屈させないように、小学校の教室も使い「凧づくり」「紙相撲」「折り紙」「キャラクターとの写真撮影」などの体験コーナーも設営した。また、地元の特産物「藤五郎梅」を使った梅ソースを作り、お餅にかけて提供した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後もPTAと連携・協働し、コミ協の通年行事としていきたい。



西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：広報活動

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

会員（構成団体代表）及び地域住民にコミュニティ活動の理解と協力を得るため。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

広報誌の発行を増やす。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

大道、年間の広報誌以外に、かわら版を年間4回発行することにした。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

なし

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

活動内容や情報の提供によって理解度が高まってきたこと、事業への参加者が増えたこと。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

資料の提供及び回収に苦労したが、専門部等に呼びかけ協力を得たこと。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

次年度も同様にかわら版を発行し、活動の理解と参加を呼びかける。